

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 川尻型枠工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		社内に掲示し、朝礼で全員が唱和している。年頭に経営目標を掲げ、達成度合いを中間、決算で全員へ報告している。									8	9																				17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		社会保険労務士や労働基準協会の指導を受け、法令厳守に徹した経営を行っている。																													16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		一次下請業者であり施工業者に適正な価格の受注をお願いしている。不正競争行為に関与しない方針を掲げ、定期的な社員教育を徹底している。															10														16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		安全衛生委員会を組織しており、毎月の目標を掲げて活動している。(反省と課題)																													16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		外部の研修制度の活用により保護に努めている。										8.2 8.3	9																			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		社長が管理者となりルールを定め徹底している。																													16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		発注者からの声や取引先等ステークホルダーとの対話を重視し、当社が外部に及ぼす影響を把握したうえで、より良い関係構築に取り組んでいる。																											16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5					8		10				12	13	14	15	16	17									
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		【予定】自然災害に対してBCPを2022年12月に作成する。作成後自主訓練の実施を行う。													9			11			13.1							16	17			
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9																		17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2				5		8						12	13	14	15	16	17						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内にて差別や人権侵害がないことを確認している。	●		安全衛生委員長がハラスメント防止の講習会を受講し、その内容を社内にて勉強会などで全社員へ共有している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3															16.1 16.2 16.7				
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生委員会で毎月の目標を定め、無事故、無災害を推進している。				3					8.8																					
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		社会保険労務士の指導を受け適切に行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3																			
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業禁止を徹底している。第二・第四 土曜日を休日とし、年間カレンダーを掲示している。				3	5.5				8.5 8.8		10.3																			
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		各種団体より受講案内があり適時に選任し受講させている。受講者にはレポート提出を義務付けている。					4	5.5			8	9																				
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		定期健康診断で異常値が検知された者に対しては勤務シフトを考慮するなどして、再検査受診を受けやすい環境づくりをしている。					3				8																		17			
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		軽作業には、軽度の障がい者の雇用を行っている。外国人実習生は15年前より受け入れている。					4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3																16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●							3				8	9.1			11	12																
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		災害防止協議等の会議をオンライン化することを、施工業者と提案して取り組んでいる。									8	9.1			11	12																
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●												3	4		8	9								12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 川尻型枠工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物の分別収納を行い、産廃業者と収集協定を結んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		「簡易計算シート」を用いてエネルギー使用量を把握している。電動フォークリフトを導入している。社有車の一部はハイブリット車へ変更している。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		【予定】「簡易計算シート」により排出量を把握し、低炭素機能を有した空調や事務機器への買い替えを検討。事務所内の電灯はLEDに取り替えている。社有車の一部はハイブリット車へ変更している。			2.4				7.2 7.3 7.a				12.4		13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		資材センター周辺の緑化に努め定期的に造園業さんに管理してもらっている。						6.6									14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		合板・枚木の再活用をケレンや再生をしている。コピー用紙の裏面活用をしている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		車輛洗車時の節水に努め、流したままにしないよう周知徹底している。蛇口部分に「節水」の表示をしている。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		型枠資材である面木目地棒をプラスチックから木製品へ変えている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●				1	2			6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●		社内取組みとして、定期的に海岸ゴミの清掃を行っている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●		社有車の一部はハイブリット車へ変更している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 川尻型枠工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																									
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		納入業者との協議を行い品質の良いものを購入している。 (JISマーク製品の購入)			3.9						9			12.4														
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		各倉庫に資材名を表記し分かりやすくしている。 表示には、見やすいフォントを使用し多言語(ベトナム・ミャンマー語)で表記している。									9.1	10	11.7													17		
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	熊本県産材(合板・桧木)を優先的に納入している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15									17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15											
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15									17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		イベント行事などの地域行事へ積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		自主防災組織の一員であり積極的に行動している。災害時緊急連絡網を作成している。				4							11.5		13.1									16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	社員5名が現在芦北町消防団へ入団しており、年1回の消防点検への参加者へは特別休暇を付与し活動を支援している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1							16	17				
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1												
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	芦北高校支援生を実習に毎年受け入れている。				4					8.6		10.2													17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元からの雇用が主体であり社員20人中15人が地元からの雇用となっている。					4.4				8.5 8.6															17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15								17		

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。